

NEWS RELEASE

THE SHIMIZU BANK,LTD.

令和4年2月28日

株式会社 清水銀行

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同について

清水銀行（頭取 岩山 靖宏）は、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 賛同表明日

令和4年2月28日（月）

2. 賛同の背景・目的

- ・近年、世界的な異常気象や大規模な自然災害による被害が甚大化するなか、地球レベルで気候変動に対応していく動きが広がってきております。
- ・こうした状況の中、気候変動がお客さまや当行に及ぼすリスクと機会を把握、検討するとともに、ステークホルダーの皆さまに対して適切な情報開示の充実を図るべく、今般「TCFD 提言」への賛同を行うことといたしました。
- ・当行は、2019年4月に「清水銀行SDGs宣言」を策定、また、2021年12月には「環境方針」「責任ある投融資方針」からなる「清水銀行サステナビリティ方針」を策定し、持続可能な社会の実現や社会的課題の解決に向けた取り組みを加速させてまいりました。
- ・当行は今後も気候変動対応を含む社会・環境問題の解決に資する取り組みを一層推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

2015年12月に金融安定理事会（FSB）が設立した機関で、企業の気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する作業部会。

TCFD はすべての企業が気候変動のリスクと機会を評価し、経営戦略・リスク管理へ反映するとともに、財務上の影響を把握・開示することを推奨する提言をまとめた最終報告書を2017年6月に公表しています。

以上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ> 清水銀行 経営企画部 土屋 054-353-7895



清水銀行

TCFD 提言への取り組み

清水銀行グループは、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」の提言に賛同しており、TCFD 提言が推奨する気候変動に関する情報開示の拡充、態勢整備に取り組み、適切に対応してまいります。

ガバナンス	<p>気候変動をはじめとする環境問題への対応について、清水銀行グループでは環境負荷低減に資する地域経済への支援や地域社会への貢献活動等、様々な取り組みを行っております。</p> <p>第 27 次中期経営計画においても、「清水銀行 SDGs 宣言の具現化」を取組施策として掲げ、更には 2021 年に「清水銀行サステナビリティ方針」を策定し、持続可能な社会の実現及びビジネスの構築に向けて取り組んでおります。</p> <p>これに関連し、SDGs/ESG への取り組みについては、経営企画部が調査・分析を行い、頭取を議長とする経営会議に付議・報告の上、必要に応じて取締役会に報告する態勢としております。</p>																					
戦略	<p>【リスク】</p> <p>気候変動対策を含む環境保全を重要な経営課題の一つとして捉えるなか、「清水銀行サステナビリティ方針」において「環境方針」を制定し、気候変動に伴う様々な機会・リスクを以下の通り認識したうえで、適切なリスク管理に取り組んでまいります。</p> <p><移行リスク></p> <p>低炭素社会への移行に伴う、気候変動対策や規制強化等により影響を受け、様々なリスクの発生が想定されます。今後様々なシナリオを想定し、当行の貸出資産への影響を分析していきます。</p> <p><物理的リスク></p> <p>気候変動に起因する異常気象に伴うお客様の資産の毀損による信用リスクの増大を想定しております。今後様々なシナリオを想定し、当行の貸出資産への影響を分析していきます。</p> <p>【機会】</p> <p>脱炭素社会の実現に向けて様々な取り組みを行うと同時に、それら気候変動の緩和や適応に資する活動を新たな事業機会と捉え、再生可能エネルギー事業へのファイナンス、お客さまの温室効果ガス排出削減やエネルギー効率向上に向けた投資への支援、脱炭素化を支援するソリューションなど、環境負荷低減を目的とした商品・サービスの積極的な提供等を行ってまいります。</p>																					
リスク管理	<p>気候変動リスクを信用リスク管理やオペレーショナルリスク管理等の統合的リスク管理の枠組みで対応する態勢の構築を検討しております。</p> <p>また、「清水銀行サステナビリティ方針」の中で、気候変動に影響を与えるセクター（石炭火力発電等）に対するクレジットポリシー「責任ある投融资方針」を定めており、地域金融機関として環境や人権など社会的な課題に配慮した責任ある投融资を実践してまいります。</p>																					
指標と目標	<p>【サステナブルファイナンスの目標・実績】</p> <p>ESG 融資実行目標を年間 100 件に設定しております。（2020 年度実績：59 件）</p> <p>【CO2 排出量の削減目標・実績】</p> <p>2030 年度までに当行の CO2 排出量を 2013 年度比 46%削減することを目標といたします。</p> <p>（2020 年度の削減実績：2013 年度比 29.3%）</p> <p><CO2 排出量の推移> (単位：t-CO2)</p> <table border="1" data-bbox="363 1863 1134 2004"> <thead> <tr> <th></th> <th>2013年度</th> <th>2016年度</th> <th>2017年度</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO2排出量(実排出)</td> <td>3,745</td> <td>3,310</td> <td>3,256</td> <td>3,025</td> <td>2,799</td> <td>2,649</td> </tr> <tr> <td>2013年度比削減比</td> <td>—</td> <td>-11.6%</td> <td>-13.1%</td> <td>-19.2%</td> <td>-25.3%</td> <td>-29.3%</td> </tr> </tbody> </table>		2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	CO2排出量(実排出)	3,745	3,310	3,256	3,025	2,799	2,649	2013年度比削減比	—	-11.6%	-13.1%	-19.2%	-25.3%	-29.3%
	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度																
CO2排出量(実排出)	3,745	3,310	3,256	3,025	2,799	2,649																
2013年度比削減比	—	-11.6%	-13.1%	-19.2%	-25.3%	-29.3%																